

記入例（貸与/転学）

提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、
記入後は速やかに転出校へ届け出てください。
※本人署名欄および人的保証記入欄以外は

転学奨学金継続願

（同一学校種間の学校の異動）※旧編入学の1の扱いを含む

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿
下記のとおり転学しました
また、卒業期が延びる場合
資金の貸与期間（終期）を
なお、返還誓約書（兼個
（終期）の延長に係る一切の
同意書）及び日本学生支援

③奨学生番号

・11桁で正確に記入してください。

提出日※	西暦 20 26 年 4 月 20 日
生年月日	西暦 2005 年 10 月 1 日（満 20 歳）
フリガナ	イエイ タロウ
氏名（自署）※2	育英 太郎
印	

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借用金額」を訂正する場合のみ必要です。

①提出日

・奨学生が転出校へ届け出た日付を記入してください。

②氏名（自署）

・必ず奨学生ご自身が記入してください。

④転出校情報

・転出する学校名と学部学科等の名称および
その課程の年数（何年制）を記入してください。
・転出時においての年次および卒業予定期を
記入してください。

奨学生番号										
8	2	X	0	8	X	X	X	X	X	X

併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号ごとに「転学奨学金継続願」を作成し提出が必要

学校、学部・課程（学科・研究科）、標準修業年限 ※3										学年・卒業予定期 ※			転学年月日 ※		
転出校	学校名	育英専門学校			学部・学科（課程・研究科）	コミュニケーション学科			標準修業年限	4	第 2 年次	(西暦) 20 26 年			
										当初の卒業予定期	3 月 31 日				
										(西暦) 20 28 年 3 月	まで在籍				
転入校	学校名	学生支援専門学校			学部・学科（課程・研究科）	キャリアデザイン学科			標準修業年限	4	第 3 年次	(西暦) 20 26 年			
										卒業予定期	4 月 1 日				
										(西暦) 20 28 年 3 月	より在籍				
学籍番号		20220101		全定通		☒ 昼 ☐ 夜 ☐ 通信		学部コード（学校記入）		5	0	9	0		
										※昼夜開講は昼を選択					

※ 当初の返還誓約書で誓約した借用金額より増額する方（卒業期延長など）は以下の項目も記入してください。（併給調整中の第一種奨学金を除く）

貸与総額が増額する場合は記入（貸与期間（終期）の延長等）

変更後の借用金額（予定・総額）※	3	6	0	0	0	0	0
------------------	---	---	---	---	---	---	---

円

※本願出に記載された変更後の借用金額が予定する借用金額を上回っている場合は、貸与月額及び貸与終期から算出される借用金額を正しい金額として取扱います。

保証制度

※現在選択している保証制度にチェックしてください。機関保証加入者は、月額変更・貸与期間内の変更に伴い保証料月額が変更となります。

口人的保証（右欄を記入）	連帯保証人	〒 162-8412 住 所 東京都新宿区市谷本村町10-7 育英 忠雄 (自署) 氏 名 生年月日 昭和40 年 2 月 8 日	
	機関保証	〒 〒 153-8503 住 所 東京都目黒区駒場 4-5-29 育英 暁子 (自署) 氏 名 生年月日 昭和45 年 4 月 25 日	
関係保証			今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととしてください。
連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を併せて提出してください。			

親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合のみ記入）

※8 円

(親権者又は未成年後見人)住所・氏名（自署）	(親権者)住所・氏名（自署）
(印:)	(印:)

が未成年者の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二人を記入してください。いずれかがいない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は、未成年後見人が自署してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

■ 転出校記入欄

休学中 (転出校で休学中の場合休学日を記入)	休学日：20 年 月 日
---------------------------	--------------

■ 転入校記入欄

(該当を☑で選択)	理工農系 ※私立学校のみ	☐	休学中 (転出校から引続き休学)	☐	月額変更	☐	同封 (様式2)	振込口座 変更	☐	同封 (様式4)
-----------	-----------------	--------------------------	---------------------	--------------------------	------	--------------------------	-------------	------------	--------------------------	-------------

※転出校で奨学金が休止中であったものは、本願提出を以て奨学金を復活します。

休学中で引続き休学する場合、上記「休学中」にチェックを記入してください。

⑦保証制度・人的保証記入欄

・選択している保証制度に✓を記入してください。

・人的保証制度で「変更後の借用金額」が増額となる(⑦の記入を要する場合)、「連帯保証人・保証人の自署・実印及び印鑑登録証明書の添付」が必要です。

上記のとおり、転学により本学から転出したことを証明します。

(転出校の証明)
20 26 年 4 月 16 日

学 校 名 育英専門学校

学 校 長 育英 太郎

返還誓約書 機構提出 (☑記入)	電話番号(担当者名)	学校番号	区分
	03 - XXXX - XXXX	5XXXXX	00
	(〇〇〇)		

上記のとおり、転学により本学に転入したことを証明し、本願出は適当と認めます。

(転入校の証明)
20 26 年 4 月 25 日

学 校 名 学生支援専門学校

学 校 長 機構 次郎

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
03 - △△△△ - XXXX	6XXXXX	00
(XXX)		

赤枠内は学校の記入・証明欄のため、本人記入は不要です。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用します。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。